

■古谷駒平 妻喜代子とともに、日本人として初めて、南アフリカの地に根をおろした。

ふるやこまへい

初の日刊新聞1870＝ 常陸國小田村で、富裕な農家の三男に生まれる。

明治6年政変 1873＝ 3歳：

初の民間工場1875＝ 5歳：廃藩置県後の変遷を経て、小田村は茨城県筑波郡に属することになる。

琉球処分・・・1879＝ 9歳：

明治14年政変1881＝11歳：

腕白小僧で、

海外雄飛を夢見るようになり、

初の対等条約1888＝18歳：

帝国憲法発布1889＝19歳：この頃には、*日本を飛び出し、サンフランシスコに渡る。

白人の経営する会社のボーイとなり、夜間は商業学校に通った後、

足尾鉍毒始・1891＝21歳：この頃、_日本移民の急増しているハワイに移り、アメリカ人の経営する酒店で働き、商売の仕方を学ぶとともに、はやくも、日本移民向けの日本酒の輸入を思いついて大きな利益を上げて、資金を貯め、_独立し、ホノルルに雑貨店を開いて順調に経営、ハワイに多かった熊本移民の娘喜代子と結婚もするが、中国人移民の増大とともに、日本人移民への圧力も高まり、

日清戦争始・1894＝24歳：日本の国家的移民政策が終って民間に移行する頃には困難を感じて、やむなく_帰国。

_前人未到の地で一旗揚げようと、世界地図を広げ、堪能になっていた英語の通用するところを物色、ダイヤモンド景気に沸く英領のケープタウンに目をつけ、

八幡製鉄始・1897＝27歳：私財をつぎ込んで購入した大量の日本品を携え、船便を探すのに苦労しながら、

子規句歌革新1898＝28歳：英領インドを中継し、*ケープタウンに上陸、すぐに、最大の繁華街に{ミカド商会}をオープン、

Bushidou・・・1899＝29歳：_ボア戦争が始まると、イギリスから派遣され大軍の現地買い付け、戦場から戻った兵士の土産品など、いわゆる戦時特需が追い風となり、後、日本に様々なものを発注して、輸入して行く。

教科書疑獄・1902＝32歳：日本政府初のアフリカ調査を命じられた在シンガポール領事の久水三郎が来店、

日比谷公園・1903＝33歳：愛知県出身の自称探検家も来店、

{ミカドショップ}は町中に知れ渡り、

日露戦争終・1905＝35歳：_日露戦争に勝利して後は、

満鉄発足・・・1906＝36歳：

_現地のヨーロッパ人、アフリカ人の就職が多くなっただけでなく、日本からも多くの、それも高学歴の若者が働きに来るように来るようになり、彼らの支えもあって、拡大の一途をたどる。自らも、日本との間を往来して、西洋人に好まれる商品を開発させては、オリジナル商品として並べ、それが飛ぶように売れるなど、実業家として、一目置かれるようになった。

アヲテ創刊・1908＝38歳：また、日本の威信を示すように、この年、ブラジルへの移民船笠戸丸が、

韓国併合・・・1910＝40歳：この年、アフリカ縦断中の大紀行家志賀重昂が来店した際に、西洋人の客が'妻が来たがって困る'とこぼしていたと記録に遺している。アルゼンチンへ向かう海軍の戦艦生駒が、

大逆事件判決1911＝41歳：この年、一時帰国した際、若者井手諦一郎が訪れて面談。世界一周訓練航海途中の東京商船学校の練習船大成丸が、ケープタウンに相次いで寄港、

明治天皇没・1912＝42歳：

その都度、礼装して出迎え、歓迎の晩餐会を催し、案内するなど、手厚くもてなし、戦艦生駒に乗船していた言論人大庭柯公が称賛するなど、_日本国内でも一気に知られて行くが、子どもに恵まれなかったこともあって、妻喜代子の望郷の念がふくらんできたことから、

21ヶ条要求・1915＝45歳：*ついに決断、店を従業員に託して帰国するも、休む間もなく、森村市左衛門の傘下に入って{ミカド合資会社}を。ケープタウンにも、{ミカド・サウスアフリカ・リミテッド}を立ち上げ、自らは、森村商事横浜支店長として、南アフリカはじめ海外貿易の陣頭指揮をとるが、

本格政党内閣1918＝48歳：この年、ようやく日本領事館が設置された。

原敬首相暗殺1921＝51歳：

関東大震災・1923＝53歳：*横浜の事務所で執務中、関東大地震に遭遇、十数人の部下とともに、圧死した。

1932年、井手諦一郎が雑誌{海外}に20年前の面談の話をふまえ「アフリカ発展の先覚者」として紹介。